



朝の天気予報では最高気温が10℃までしか上がらないとのことで、寒い日になると予想しましたが、実際には風のない穏やかな日和になり、子どもたちは途中で上着を脱いでしゃぎ回っていました。

ニホンアカガエルが卵を産んだと聞いて見に行きました。最初にカエル池を調べてみましたが卵は見当たらず、オタマジャクシ池の方ではたくさん見つかりました。卵塊の数を数えると、下の段には7個、上段には8個あったとのことでした。卵の中にはオタマジャクシの尾の部分ができ始めているものもありました。



ニホンアカガエルの卵を探す



ニホンアカガエルの卵塊



ニホンアカガエルの卵

中道を進んで行くと、脇のツツジの枝にオオカマキリの卵鞘を見つけた参加者がいました。少し小ぶりな卵鞘でした。その卵を観察していると同じツツジのすぐ近くの枝に、外来種のムネアカハラビロカマキリの卵鞘も見つかりました。道沿いに大量の落ち葉が降り積もっている中を女の子が楽しそうに歩いていた。



オオカマキリの卵鞘



ムネアカハラビロカマキリの卵鞘



落ち葉の中を歩く

せせらぎ沿いにはオオイヌノフグリが咲き始めていました。花の数はまだそれほど多くありませんでした。つどいの丘では紅白のウメの花が咲いていて、よく見るとコウバイはほぼ満開、ハクバイの方はまだまだつぼみが残って5分咲きといったところでした。そのハクバイの木に去年からついていたドロバチの巣に穴が開いているのを見た参加者が中を見てみようという提案をしました。男の子の手で巣を割り中を見てみましたが、予想に反してハチの抜け殻のようなものは見当たらず、黒っぽい粉状のものが残されているのみでした。



オオイヌノフグリ



つどいの丘



コウバイ



ハクバイ



ドロバチの巣



ドロバチの巣の中を確認

※Facebook も見てください！「平和公園自然観察会 Facebook」で検索・または⇒



田んぼの日照確保のために最近伐られた**アカメヤナギ**のところへ行って年輪を数えました。幹の中心は二本に分かれていて、一方は12本、他方は10本の筋がついていました。**セイヨウタンポポ**が所々に咲いていました。そのほとんどが開花間もない花でロゼット状に広がった葉の中心で地面に接するように咲いていましたが、綿毛になっているものもありました。田んぼの脇には**タネツケバナ**が咲いていました。



アカメヤナギの切り株



セイヨウタンポポ



タネツケバナ

田んぼでは去年の春の観察会で**レンゲ**が少なくなってきたとの話を聞きましたが、秋に種を蒔いたそうです。レンゲの種は冬の寒さに当たらないと芽を出さないとのことですが、この日は青々とした葉が一群となっていました。9月頃から花を咲かせる**ヒガンバナ**の葉を観察しました。春には枯れてしまうそうです。このあとみんなで**藪こぎ**に挑戦しました。急な斜面ですが小さい子も頑張っていました。



レンゲ



ヒガンバナ



藪こぎ

藪こぎの途中で、樹皮の下で越冬する**フタモンウバタマコメツキ**と**ヤニサシガメ**の幼虫が見つかりました。キラニン通りの側溝の側面に生えている**ノキシノブ**の葉の裏には、**胞子嚢**が山盛りになっていました。その近くの**ソヨゴ**の樹皮にはこぶ状のふくらみがいくつもできていました。虫こぶなのか、病気なのかと話しましたが、あとで調べてもわかりませんでした。帰り道の畑の脇では**ナスナ**を観察しました。



フタモンウバタマコメツキ



ヤニサシガメ



ノキシノブ



ノキシノブの胞子嚢



ソヨゴの樹皮のこぶ



ナスナ

観察項目(観察順): ニホンアカガエルの卵塊, オオカマキリの卵鞘, ムネアカハラビロカマキリの卵鞘, オオイヌノフグリ, カワラタケ, ナナホシテントウ, アベマキの落ち葉, ソシンロウバイ, コウバイ, ハクバイ, ドロバチの巣, セイヨウタンポポ, 湿地, アカメヤナギの切り株, ミチタネツケバナ, レンゲ, ヒサカキの花芽, シマドジョウ, ヒガンバナ, クマザサ, シンジユ, ヤマノイモ, アオキ, ヒヨドリの水浴び場, ツバキ, コシダ, フタモンウバタマコメツキ, ヤニサシガメ, ウバメガシ, ユキヤナギ, スイセン, ホトケノザ, ネジキの新枝, ノキシノブ, ソヨゴ, ナスナ, ウグイス, カシラダカ, シジュウカラの声